

小4～

地球環境問題について考えてみよう

何人でも

環境ラベルをさがそう

3時間

身近な場所

■概要

身の回りにある環境ラベルを探し、発表する。

■ねらい

身の回りにある商品に付いている環境への負荷が少ないことを示すラベルを探すことで、環境への興味・関心を養う。

環境ラベルが付いている理由を考えることを通じて、「環境にやさしい」ことの具体的な意味を考えるきっかけとする。

■準備物

- 調査用紙
- 筆記用具

■進め方

活動	時間	内 容	注意事項
導入	15分	・調査用紙配布。 ・身の回りにある商品の中には、環境への負荷が少ないことを示すラベルが付いているものがあるので、そのラベルを探してくること、そして、どうしてそのマークがついているかを考えて調査用紙に記入することを伝える。	学校だけでは収集は困難なので、宿題や課題として出す。
調査	80分	・各自がラベルを調査する。 どんなラベルを見つけてきたか、班内で相互に発表（20分） 班ごとに班の探してきた環境ラベルの一覧表を作成（60分）	環境ラベルでないものであってもむやみに否定せず、それを見つけた理由を聞く。
まとめ	60分	・各班で発表。（質問も積極的にさせる。） ・珍しいラベルや印象に残ったものを取り上げ、様々な質問をしながら進めていく。（どうしてこのようなラベルが作られているのか。自分はこれらをどう思うか。家族はこの調査をみてどう思ったか等） ・商品を選ぶ基準として、これらも大事な選択肢として考える必要があること、みんなが環境のことを考えて商品を選ぶならメーカーはどうするだろう等の質問をしながら、環境にやさしい生活の重要性を考えさせる。	メーカーが独自で作成したラベルを見つけた場合、それも積極的に取り上げる。 （参考資料参照）

（授業の場合 45分×4）

■解説

学習に理解のあるスーパーなどが校区内にある場合、買い物客の少ない時間帯を利用してスーパー内で調査すると、子どもたちにとってより一層の学習効果が期待できる。

身のまわりのいろいろな環境ラベルについて

私たちの身のまわりにある商品で、環境への負荷が少ない商品には、それを表すラベルがついているものが増えつつあり、消費者は、そのラベルを見ることで、環境との関わりを考えたり、環境への負荷が少ない商品を選ぶための目安として役立てることができます。

地球温暖化防止のためにも、こうした商品を選んで購入することが重要となっています。

【環境ラベルの例】

	<p>このマークは、お菓子などのプラスチック製の袋、マヨネーズの容器などについています。 リサイクルされると、文房具、日用品などのプラスチック製品になります。</p>
	<p>このマークは、ジュース、酒、しょうゆなどのペットボトルについています。リサイクルされると、シャツなどの再生衣料、水切りネット、卵パックなどになります。</p>
	<p>このマークは、ジュースやコーヒーなどのスチール製の缶についています。リサイクルされると、スチール缶、鉄筋などになります。</p>
	<p>このマークは、ジュースやビールなどのアルミ製の缶についています。リサイクルされると、アルミ缶や自動車の部品になります。</p>
	<p>このマークは、お菓子の外箱、ティッシュペーパーの箱などについています。 リサイクルされると、トイレトペーパー、ティッシュペーパーなどになります。</p>
	<p>エコマーク このマークは、環境にやさしい商品、リサイクル品などについています。</p>
	<p>グリーンマーク このマークは、古紙を再生利用してつくられた紙、ノートなどについています。</p>
	<p>再生紙使用マーク このマークは、古紙(再生紙)が何パーセント入っているか表しています。左は古紙 100%使用の場合。使用率で数字の部分が変わります。</p>

 <p>PETボトル 再利用品</p>	<p>ペットボトルリサイクル推奨(すいしょう)マーク このマークは、ペットボトルを再生利用した商品についています。</p>
 <p>牛乳パック再利用品</p>	<p>牛乳パック再利用マーク このマークは、市民が回収した牛乳パックの再生利用品についています。</p>
 <p>紙パック</p>	<p>紙パックマーク このマークは、アルミを使わずにつくられたジュースなど飲料用の紙パックについています。</p>
 <p>Energy Star</p>	<p>国際エネルギースタープログラム このマークは、パソコンなどの機器について、待機時(使っていない時)の消費電力に関する環境基準を満たす商品につけられています。</p>